



祛湿剤・化痰剤

『わかる中医学入門』 164-168 頁

祛湿剤・化痰剤とは

祛湿剤とは祛湿、利湿、燥湿、化湿の作用を持つ中薬を主体に配合し、過剰な水湿を除去する方剤。水湿証の治療に使われる。

化痰剤とは痰飲を除去する方剤。痰飲証の治療に使われる。

ごれいさん

五苓散（医療用漢方製剤）

水の偏在を解消する、利水滲湿の代表方剤

水湿内停、痰飲を改善する。また臍下水気による気の上衝にも適応する。五苓散が有効な水湿証の特徴は、口渴がある一方で胃腸に水が溜まっている「水の偏在」がみられること。尿量の減少もみられる。

組成：沢瀉 猪苓 茯苓 白朮 桂枝

効能：利水滲湿 通陽化気

主治：水湿内停 痰飲

症状の目安：むくみ、下痢、口渴、尿量減少、動悸、嘔吐、めまい、頭痛など

ちよれいとう

猪苓湯（医療用漢方製剤）

下焦の水湿と熱を除去しつつ滋陰する

現代で言うところの、膀胱炎などに適応する。腎や膀胱に湿熱がたまり、正常な水液代謝ができないため尿量減少、むくみなどが起こる。水湿と熱邪が結びつき膀胱機能を阻害すると排尿痛や残尿感などの症状があらわれる。同時に陰を補う点が猪苓湯の特徴。

組成：猪苓 沢瀉 茯苓 滑石 阿膠

効能：清熱利水 滋陰

主治：水熱互結

症状の目安：むくみ、尿量減少、吐き気、下痢、排尿痛、残尿感、濃い色の尿、血尿、頻尿、下腹部痛、下腹部膨満感など

ぼういおうぎとう

防己黄耆湯（医療用漢方製剤）

気虚によるむくみ、風水・風湿に

脾肺気虚による衛気不足と水湿停滞がある状況で使う。また衛気不足のため風邪が侵入すると「風湿」「風水」が生じる。風湿による痺証や風水による水腫の改善にも適応する。

組成：防己 黄耆 白朮 生姜 大棗 甘草

効能：益気祛風 健脾利水

主治：衛気不固 風湿 風水

症状の目安：手足がむくむ（夕方足がむくみやすい）、朝だけ顔やまぶたが腫れぼったい
少し動くと汗が出る、悪風、体が重だるい、尿量減少、疲れやすい、息切れ

手足の関節痛、関節の腫れ、関節に水がたまる、しびれ、強ばり、筋肉の痛みなど

いんちんこうとう

茵陳蒿湯（医療用漢方製剤）

湿熱と黄疸を治す清熱祛湿剤

肝胆湿熱による黄疸（皮膚、目が黄色）を治す。黄疸がなくとも湿熱に広く用いられる。

組成：茵陳蒿 山梔子 大黄

効能：清熱利湿 退黄

主治：湿熱黄疸

症状の目安：口が苦い、口渇（水分を欲しがらない）、頭汗、熱感、食欲不振、
胸腹部膨満感、尿が濃い、便秘、黄疸、発熱など

りょうけいじゅつかんとう

苓桂朮甘湯（医療用漢方製剤）

寒飲に対する基本方剤

脾気虚や脾陽虚がベースにあり、運化失調のため慢性的に水飲（寒飲）が生じている状況で使う。

組成：茯苓 桂枝 白朮 甘草

効能：温化寒飲 健脾利湿

主治：寒飲 脾陽不足（脾虚）

症状の目安：上腹部膨満感 胃の振水音 軟便 むくみ 胸の閉塞感 咳嗽 痰（多量）
動悸 息苦しい 吐き気 頭痛 耳鳴り 食欲不振 疲れやすい めまい 立ちくらみ
四肢が冷えるなど

しんぶとう

真武湯（医療用漢方製剤）

腎陽虚による寒飲停滞に

腎陽虚がベースにあり、津液の気化蒸騰が不足して水湿が生じ、脾陽への温煦も不足して水湿が三焦に氾濫した状況に適応する。

組成：附子 茯苓 白朮 白芍 生姜

効能：温陽利水

主治：脾腎陽虚 水湿内停

症状の目安：むくみ（特に下半身） 尿量減少 泥状便 下痢 お腹や下半身が冷える
冷えによる腹痛 動悸 嘔吐 めまい 筋肉がピクピクする 四肢がだるい 疲れやすいなど

へいいさん

平胃散（医療用漢方製剤）

脾胃の湿邪を解消する芳香化湿剤

温めながら脾胃の湿を乾燥させる芳香化湿剤の代表。脾胃に湿邪が生じ、脾胃の気機が阻滞して運化失調が起こっている状況で使う。芳香成分が胃腸の蠕動運動を促進して胃腸機能が正常な働きを取り戻し、結果的に余分な湿気が解消される。

組成：蒼朮 厚朴 陳皮 甘草 生姜 大棗

効能：燥湿運脾 行气和胃

主治：湿困脾胃（寒湿困脾）

症状の目安：腹部膨満感 胃が痞える 胃がもたれる 食欲不振 味がしない 悪心
嘔吐 酸っぱい胃酸が上がってくる 動悸 噯気 吞酸 咳 痰 体や四肢が重だるい
眠気 下痢 帯下など

にちんとう

二陳湯 (医療用漢方製剤)

燥湿化痰の基本方剤

主に肺と脾胃の痰を解消する。二陳湯を単独で使うケースは少ないが、二陳湯の組成は多くの方剤に組み込まれている。

組成：**半夏 陳皮 茯苓 甘草 生姜**

効能：燥湿化痰 降逆和胃 (理気和中)

主治：痰湿証

症状の目安：咳嗽 多量の痰 (白) 悪心 嘔吐 胸が痞える 胸苦しい べったりした舌苔
めまい 動悸 食欲不振 四肢が重だるいなど

はんげびやくじゅつてんまとう

半夏白朮天麻湯 (医療用漢方製剤)

風痰上擾を治す化痰剤

脾気虚によって痰が生じ、気血津液の生成不足も起こっている。肝陰が不足した場合、肝風内動が起こることがあり、痰湿が上昇して上部をかき乱す。このような状況に使う。

組成：**半夏 天麻 白朮 人參 黄耆 茯苓 沢瀉 蒼朮 陳皮 乾姜 黄柏 神麴 麦芽**

効能：平肝熄風 燥湿化痰 補気健脾

主治：風痰上擾 脾気虚証

症状の目安：めまい (回転性) ふらつき 頭が重い 頭痛 悪心 嘔吐 胸苦しい 耳鳴り
食欲不振 腹部膨満感 泥状便など

うんたんとう

温胆湯 (市販薬)

胆胃不和による痰熱を解消

脾の運化失調により生じた痰が胆を阻滞し胆気鬱結して痰熱となる。胆気が横逆して胆胃不和が起こっている状況に適応する。また胃・胆などで発生した痰熱が上逆してかき乱している場合にも使うことができる。

組成：**半夏 竹茹 枳実 陳皮 茯苓 生姜 甘草**

効能：理気化痰 清胆和胃

主治：胆胃不和 痰熱内擾

症状の目安：悪心 嘔吐 イライラ 口が苦い 多痰 驚きやすい 不安 気が高ぶる
寝つきが悪い 眠りが浅い 不眠 動悸 胸苦しい めまい 舌黄膩苔など

せいはいとう

清肺湯（医療用漢方製剤）

肺熱と肺陰虚を治す化痰剤

熱邪が肺にこもり肺の津液を灼傷して痰が生まれ、肺の機能が失調した状況に適応する。また痰熱が肺に停滞すると血瘀が生じて膿を形成（肺癰）することがある。この場合にも清肺湯を使うことができる。

組成：桑白皮 黄芩 山梔子 貝母 桔梗 杏仁 天門冬 麦門冬 五味子 当歸
茯苓 陳皮 生姜 大棗 甘草

効能：清肺養陰 止咳化痰

主治：肺熱（痰熱壅肺） 肺陰虚

症状の目安：咳嗽、痰（黄色で粘る、固形状）、血痰（膿血痰・生臭い痰）、口渇、喉が痛い、発熱、呼吸が荒い、喘息、胸痛 尿色濃、便秘、舌質紅、舌苔黄膩

りょうかんきょうみしんげにんとう

苓甘姜味辛夏仁湯（医療用漢方製剤）

寒痰、咳や喘息を改善する温化寒痰剤

寒飲・寒痰による諸症状を改善する。ただし「裏証」に限る。

※例えば小青龍湯は「表証」による咳、痰、鼻水を改善する。症状だけみれば苓甘姜味辛夏仁湯が適応する症状に近い。間違いなくチョイスするためにはしっかりと弁証する必要あり。

組成：半夏 杏仁 五味子 細辛 茯苓 乾姜 甘草

効能：温肺化痰 止咳平喘 利水

主治：寒飲内停

症状の目安：多量の白い痰 鼻水 唾やよだれが多い 咳嗽 喉中痰鳴 痰を出してもスッキリしない 胸悶 むくみ 舌淡 苔白膩 など